

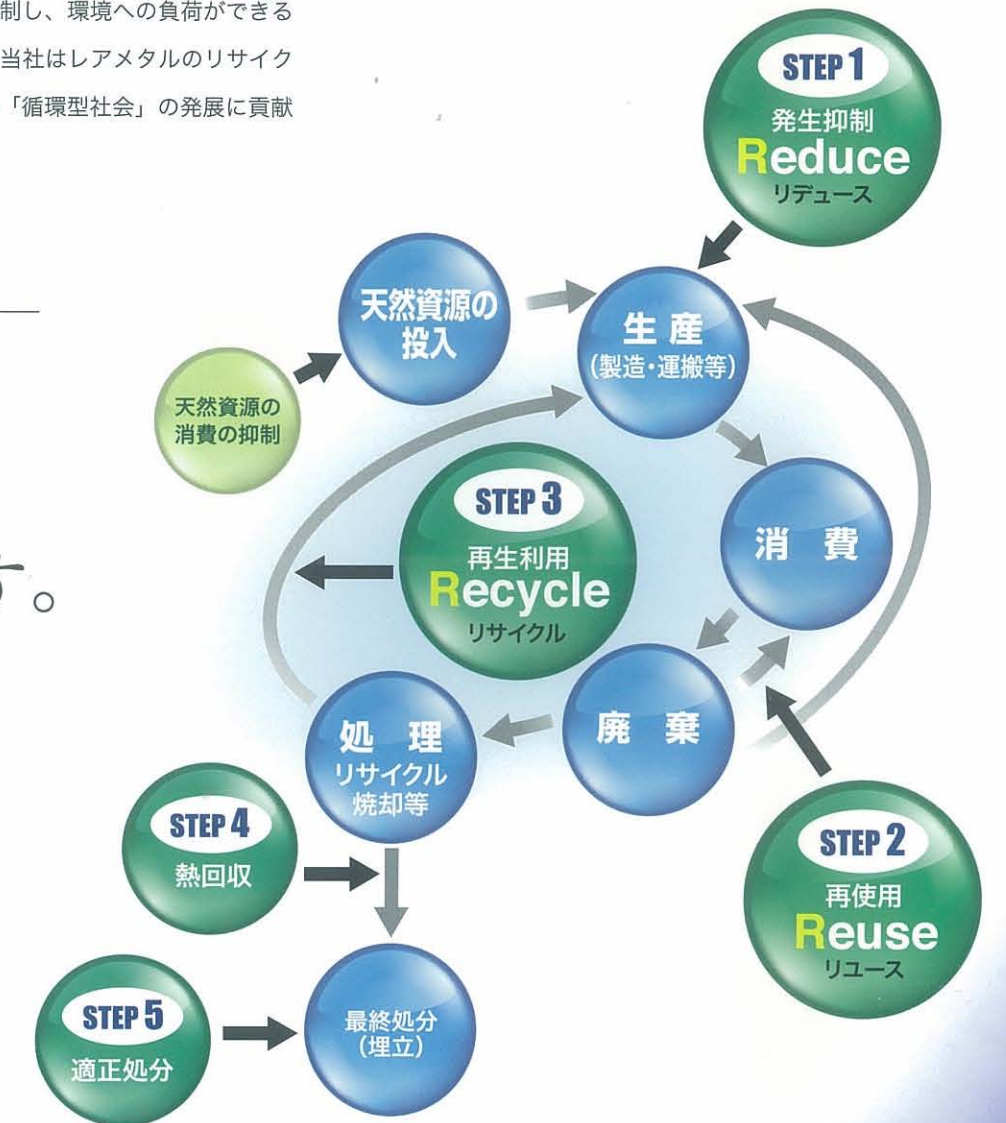


人が活かす稀少金属
富陽金属株式会社
<http://www.fuyometal.co.jp>

資源・環境の未来のために
日本リサイクルセンター株式会社
<http://www.recycle21.co.jp>

循環型社会の発展を目指して

日本では、循環型社会の構築を目的として2001年に「資源の有効な利用の促進に関する法律」（通称：リサイクル法）が大幅に改定されました。循環型社会とは、適正な3R (Reduce、Reuse、Recycle) と処分により新たな天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会のことを指します。当社はレアメタルのリサイクルを中心とした事業活動を通して、この「循環型社会」の発展に貢献していきます。



【企業理念】

技術と創造力をもって、人、資源、環境の調和を追求し、社会への発展に貢献し続ける。

「暮らしに活かす金属から、生かし続ける金属へ」
私たちは地球環境の保全のために、
これからも限りある「希少金属」の有効活用を考えていきます。

希少資源の有効活用

レアメタル（希少金属）とは非鉄金属のうち、世界的に産出地が限られ産出量も少ない金属のことを指し、具体的にはニッケル、コバルト、クロム、チタン、タングステン等といった金属が該当します。レアメタルは、半導体やモーターなどの電子材料、超硬合金や耐熱鋼などの合金材料として使用されるほか、電池の材料や石油化学の触媒材として利用されるなど、様々な用途に用いられ、私たちの暮らしを支える上で非常に重要な役割を果たしています。しかしその一方で一度利用されたレアメタルが大量に廃棄され、再生されることなく捨てられてしまうことも少なくありません。当社ではそのような再利用の可能性が残っているレアメタルの加工・売買を中心とした事業を通して、限りある資源の有効活用を積極的に推進しています。



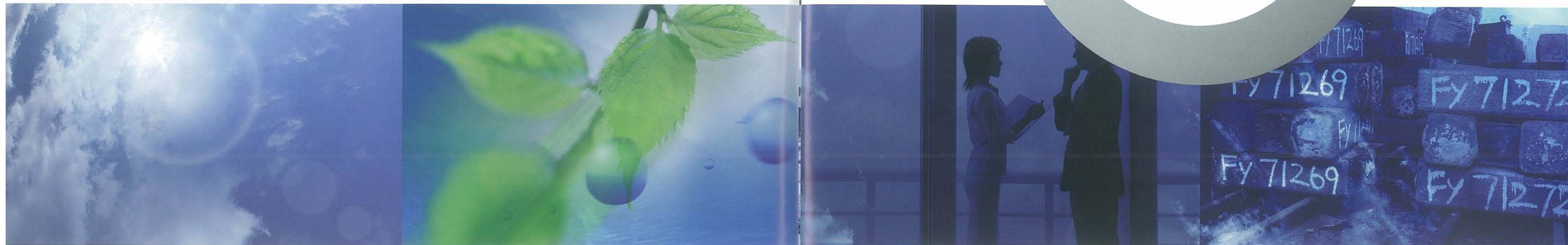
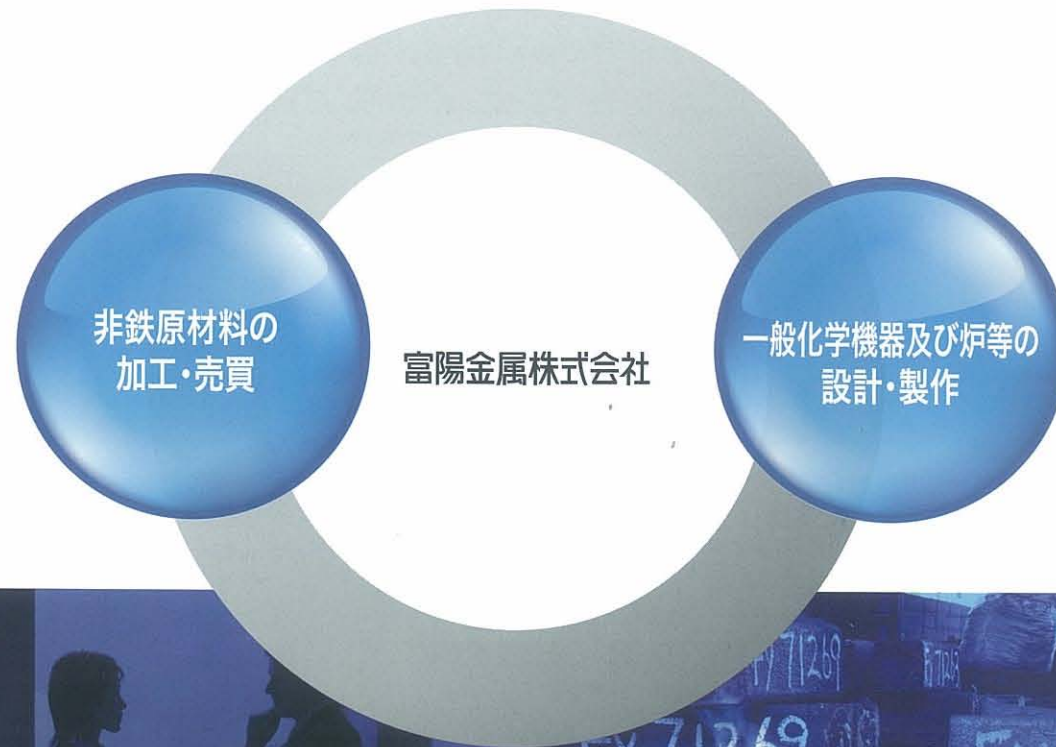
環境活動

「富陽金属株式会社」と「日本リサイクルセンター株式会社」は、2002年に佃事業場においてISO14001：1996の認証を取得し運用を始め、2006年にはISO14001：2004の認証を佃・中島両事業場において新たに取得しました。希少金属の加工・売買業務と充電式電池の回収・リサイクル事業を行う上で、地球環境への負荷の低減を目指して、環境管理システムを構築し、積極的に環境活動を行なっています。



富陽金属株式会社と日本リサイクルセンター株式会社は、【ISO 14001:2004】の認証を佃事業場・中島事業場で取得しています。

非鉄原材料、特殊鋼原材料のリサイクルを通じて
限られた資源であるレアメタルの未来を見つめていきます。



当社は1939年に輸入品のモネルメタルやステンレス鋼を取り扱う個人商店としてスタートし、戦後は副原料のレアメタル取扱いに主力を置いて事業活動を行ってきました。1956年に現在の富陽金属株式会社へと改組して以来は、自社製のフェロニッケル（50%ニッケル 低インピュアリティ）を加工・販売し、専門知識や経験を活かして積極的に金属の再資源化に取り組んでいます。

現在は、希少金属を主とした非鉄原材料の売買をはじめとして、複雑な原料を配合したフェロニッケルの加工等、あらゆるニーズにお応えしています。また長年の経験とノウハウを生かして、一般化学機器や炉の設計・製作も数多く手がけており、多くのお客様からご好評を頂いています。

会社概要

創 業：1934年（昭和 9年）3月
設 立：1956年（昭和31年）5月23日
資 本 金：2,400万円
代表取締役：増田 康次
従 業 員 数：21名（2010年3月現在）

営業内容

- ニッケル・フェロニッケル・コバルト・モリブデン・タングステン・カドミウム・チタン・金・銀・その他非鉄原材料の加工・売買
- ステンレス鋼・モネルメタル・その他特殊鋼材の加工・売買
- 一般化学機器及び炉等の設計・製作

沿 革

1934年（昭和 9年）	3月	創業
1951年（昭和26年）	9月	富陽産業株式会社設立
1956年（昭和31年）	1月	日本冶金工業株式会社 指定特約店
1956年（昭和31年）	5月	富陽金属株式会社設立
1956年（昭和31年）	11月	富陽金属株式会社にて富陽産業株式会社の業務一切を継承
1957年（昭和32年）	2月	本社ビル竣工
1960年（昭和35年）	3月	佃倉庫竣工（大淀倉庫より移転）
1970年（昭和45年）	3月	住友金属鉱山株式会社 指定特約店
1976年（昭和51年）	11月	日本リサイクルセンター株式会社設立
1993年（平成 5年）	5月	本社ビル新築竣工
1999年（平成11年）	2月	中島事業場竣工
2002年（平成14年）	3月	佃事業場 ISO14001 認証取得
2005年（平成17年）	1月	中島事業場移転

ホームページ

<http://www.fuyometal.co.jp>

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満 6丁目 3-19
TEL 06-6311-2800 FAX 06-6311-0949

佃事業場

〒555-0001 大阪市西淀川区佃 6丁目 10-39
TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607

中島事業場

〒555-0041 大阪市西淀川区中島 2丁目 9-141
TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030

主要取引銀行

三菱東京UFJ銀行 天満支店
三井住友銀行 梅田支店
みなと銀行 梅田支店

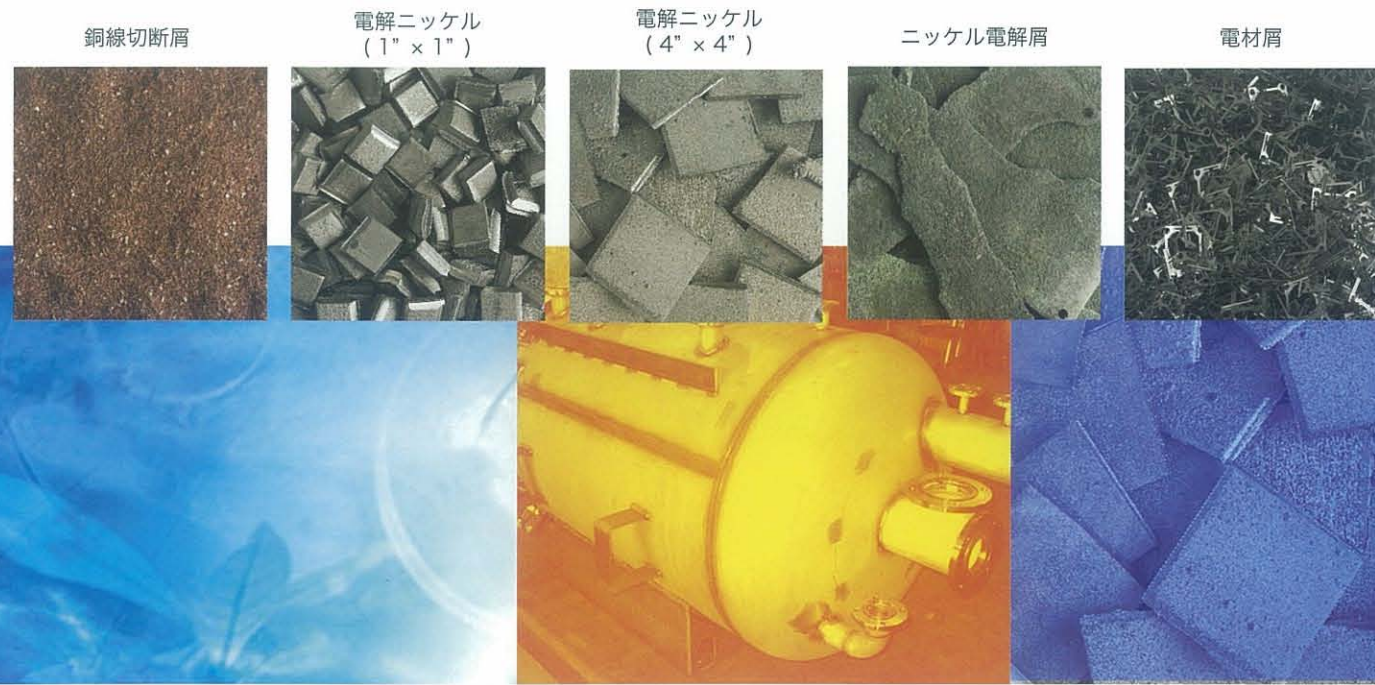
原材料革命に挑む信頼の技術

複雑な原料の配合によるフェロニッケルの加工

非鉄原材料の加工・売買

富陽金属株式会社では、ニッケル、コバルト、モリブデン、タングステン、チタン、金、銀等、産業界で重要な役割を果たしているレアメタルの加工・売買を行なっています。また新しい合金の研究や新たな用途の開発など、原材料革命にも果敢に挑み、多くの成果を上げています。

国際商品である金属の価格は国際情勢に大きく左右されます。そのため経験とノウハウを生かした原材料の収集・配合技術が必要となります。当社は長年に渡って培った技術力を生かして、複雑な原料の配合、フェロニッケルの加工をはじめ、あらゆるニーズにお応えします。



ブリケット加工・乾燥処理

当社では、多くのご要望にお応えして、「ブリケット加工」や「乾燥処理」といった原材料加工も行なっています。

ブリケット加工

粉状原料のままに金属精製を行なうと粉塵が発生し、歩留まりを悪化させる原因となります。このように取り扱いが面倒な粉状原料を当社ではブリケット加工を施して団子状に加工させ、最良の状態でお届けすることができます。



使用目的に合わせて混合素材を厳選し、配合します。



ミックスマラーにて配合した原料を均等に練り合わせた後、ブリケットマシンで加工が施されます。



取り扱いやすい団子状に加工された原料を納品します。

乾燥処理

水分を含んだ原材料を乾燥させて粉状原料に加工することも可能です。製品の配合等はお客様のご要望にお応えします。



水分を帯びた原材料。



当社所有の乾燥機を用いて、乾燥処理を施します。



乾燥させた状態で納品します。

ニーズに的確に応える独自のノウハウ

ステンレスやチタン、特殊鋼を使用した特殊機器や炉等の設計・製作

一般化学機器及び炉等の設計・製作

当社では、自社設備に係る設計及び製作を社内で行なっています。そこで培われた経験と、長年にわたる技術の蓄積から得られたノウハウを生かして、ステンレス、チタン、その他特殊鋼を使用した耐熱、耐アルカリ、耐酸特殊機器や炉等の設計・製作の事業も行っています。非常に高い品質を誇る当社の製品は多くのお客様からご好評を頂いています。

当社はステンレス二次問屋であるため、リーズナブルな価格で製品を提供することが可能です。また多数の協力会社とのネットワークがあることから、納期や製品へのニーズについて迅速に対応をすることができます。



製罐作業場



溶接風景



焼入用真空炉

製品については、一般化学機器をはじめとして、真空炉等の製作やポンプケーシングといった工業製品の製作に至るまで、ありとあらゆるお客様のご要望にお応えすることが出来ます。また設計についても当社で請け負うことが可能ですので、まずは当社営業担当まで一度お問い合わせください。



脱臭設備部品



水冷用蛇管

私たちは「地球環境の保全」と「循環型社会の構築」を目指して
 これからもレアメタルの有効活用に貢献していきます。



現代社会においては、レアメタルを含んだ充電式電池や家電製品などが大量に廃棄され、再生されることなく捨てられてしまうことが多くあります。そのようにして捨てられた家電製品の中に含まれる有用な資源の量は「都市鉱山」と呼ばれ、そこに含まれるレアメタルの量は自然鉱山の量をはるかに上回るといわれています。例えば、1tの鉱石からは10～20kgのニッケルしか採れませんが、充電式電池1tから200～350kg以上のニッケルを回収することができ、さらには銅やコバルト、アルミまでも回収することが可能なのです。

私たちはこれからの地球環境のために、これらの有用な資源をただ消費するばかりではなく、リサイクルして有効に活用し、循環継続させて次世代へと引き継いでいかなければならない義務があると考えます。



会社概要

設立：1976年（昭和51年）11月6日
 資本金：5,000万円
 代表取締役：増田 康次
 従業員数：67名（2010年3月現在）

営業内容

- 充電式電池回収、金属再生処理
- 非鉄金属原材料、非鉄金属屑およびその加工品の売買
- 非鉄金属の再生加工
- 小型充電式電池の再資源化処理（JBRCより処理委託）

沿革

- | | | |
|-------|------------|--|
| 1976年 | （昭和51年）11月 | 設立 |
| 1976年 | （昭和51年）11月 | 社団法人蓄電池工業会（現：社団法人電池工業会）の指定リサイクラーとなる |
| 1977年 | （昭和52年）10月 | 柏原工場竣工 |
| 1987年 | （昭和62年）4月 | 韓国合弁会社「韓日金属再生株式会社」設立 |
| 1987年 | （昭和62年）12月 | 柏原工場移転 |
| 1988年 | （昭和63年）8月 | 韓国工場竣工 |
| 1994年 | （平成6年）10月 | 河内長野倉庫開設 |
| 1998年 | （平成10年）8月 | 韓国合弁会社解消に伴い中島事業場竣工 |
| 1999年 | （平成11年）2月 | 中島事業場竣工 |
| 2002年 | （平成14年）3月 | 中島事業場 ISO14001 認証取得 |
| 2004年 | （平成16年）4月 | 有限責任中間法人 JBRC（現：一般社団法人 JBRC）の指定リサイクラーとなる |
| 2005年 | （平成17年）1月 | 拠点集約に伴い河内長野倉庫閉鎖及び中島事業場移転 |
| 2005年 | （平成17年）4月 | 原町事業場新設 |
| 2006年 | （平成18年）9月 | 中島事業場 ISO14001 認証取得 |
| 2008年 | （平成20年）4月 | 中島事業場に分析室を開設 |
| 2009年 | （平成21年）10月 | 大和事業場新設 |

主要取引銀行

- ・三菱東京UFJ銀行 天満支店
- ・三井住友銀行 梅田支店
- ・みなと銀行 梅田支店

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満6丁目3-19
 TEL 06-6311-9071 FAX 06-6311-0949

佃事業場

〒555-0001 大阪市西淀川区佃6丁目10-39
 TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607
 設備：真空加熱炉4基（処理能力：6.0t/日：24h）
 脱臭装置1基（真空加熱炉4基に対応）
 バグフィルター1基（真空加熱炉4基に対応）
 バグフィルター1基（局所集塵用）
 フィルターボックス1基（建屋集塵用）

中島事業場

〒555-0041 大阪市西淀川区中島2丁目9-141
 TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030
 設備：ベル型真空加熱炉2基（処理能力：4.0t/日：24h）
 ポット型真空加熱炉2基（処理能力：4.0t/日：24h）
 連続式乾燥炉1基（処理能力：1.5t/日：8h）
 破砕機1基（処理能力：4.8t/日：8h）
 脱臭装置3基（各炉に対応）
 バグフィルター3基（各炉に対応）
 解体設備一式（処理能力：4.3t/日：7h）
 中和設備一式（処理能力：0.6m³/日：7h）
 バグフィルター2基（建屋集塵用）

原町事業場

〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山1-35
 TEL 0532-41-0917 FAX 0532-41-0917

大和事業場

〒981-3621 宮城県黒川郡大和町吉岡字道下27-1
 TEL 022-344-7668 FAX 022-344-7669

ホームページ

<http://www.recycle2l.co.jp>

使用済充電式電池のリサイクル

日本リサイクルセンターは使用済充電式電池の再資源化処理に取り組んでいます。レアメタルを主原料として生産されるニッケルカドミウム電池（ニカド電池）、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池などを回収し、独自技術によって金属資源として有効利用が出来るような形へ再生処理を施します。当社で扱っている電池には下記の4種があり、それぞれの種類に応じた再資源化処理を施しています。

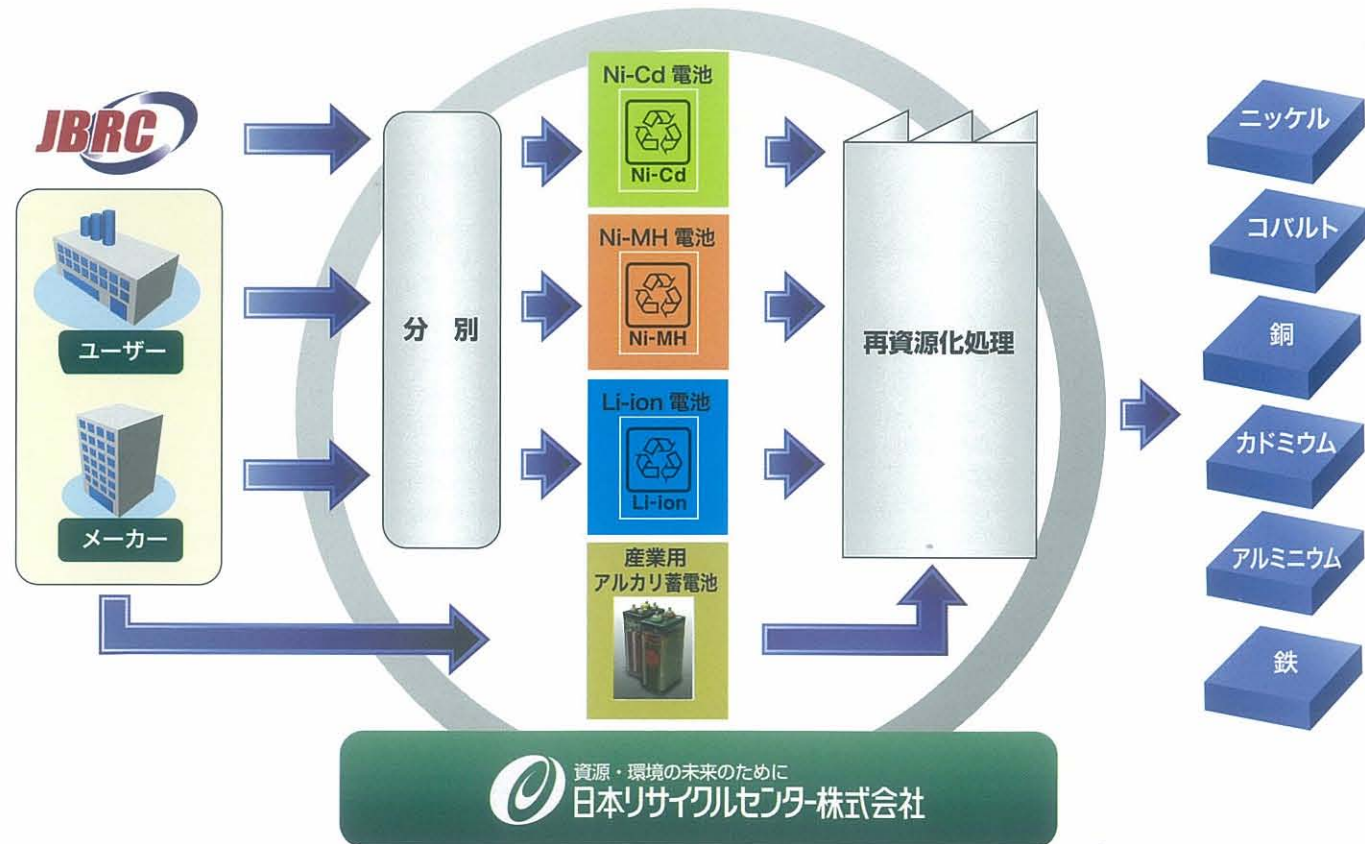


また当社で回収している充電式電池は下記のような用途で使用されており、最近では携帯電話やノートパソコン、電動アシスト自転車やハイブリッドカーなど、その用途も広がっています。



当社の電池リサイクル事業

充電式電池回収箱の設置をはじめ、使用済み充電式電池の再資源化を推進する「一般社団法人 JBRC」の委託処理会社として、万全の体制で各種充電式電池の再生に取り組んでいます。



小型充電式電池の回収・リサイクル活動を行なうことを目的に電池メーカー各社と充電式電池内蔵機器メーカー各社により設立された団体です。



年々拡大する回収量に応える万全の体制

当社の充電式電池の回収量は、需要の急増やJBRCによる回収活動の浸透などに伴い年々拡大しています。

また近年においては回収エリアについても、中国、アメリカ、台湾、香港、タイ、インドネシアなど、日本国内にとどまらず世界中に拡大しています。



材料分析室

当社は安全かつ効果的なリサイクルを行なうため、また再生金属の品質保持のため、2008年に中島事業場において材料分析室を立ち上げました。成分分析を主業務とする材料分析室は、リサイクル技術向上のために技術部と連携して設備改善を行なうなど、社内外における化学関連業務に積極的に取り組んでいます。



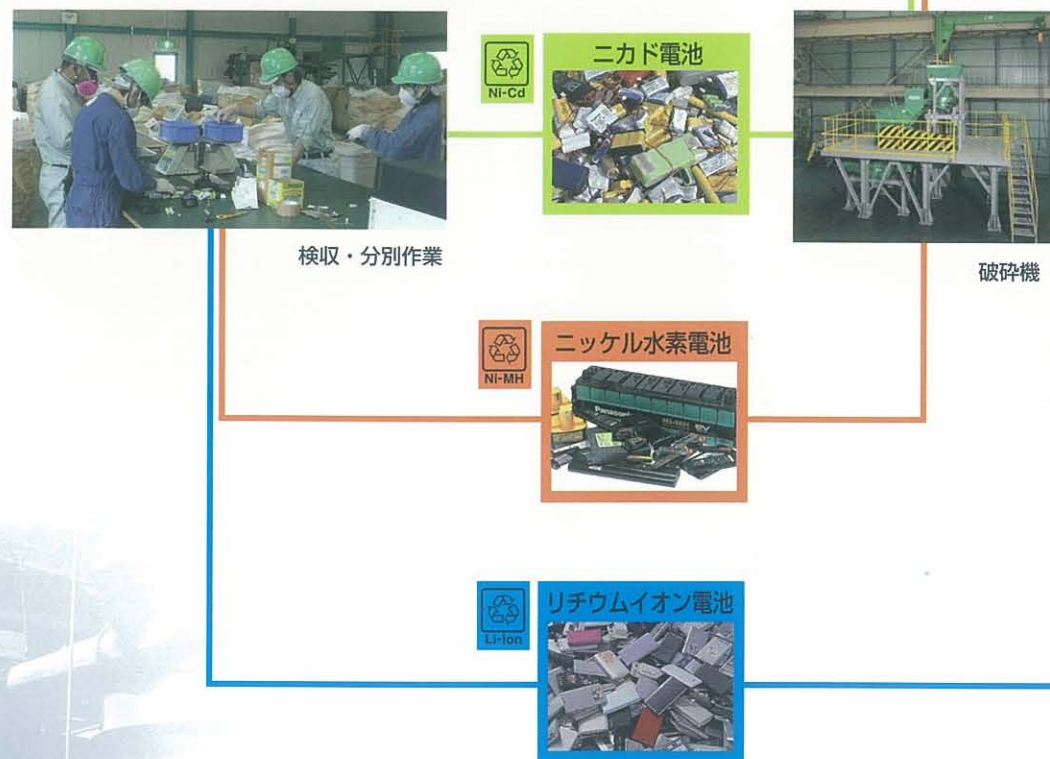
環境に配慮した独自開発の技術・設備による「再資源化処理」

産業用アルカリ蓄電池 再資源化処理工程



使用済充電式電池 再資源化処理工程

JBRC及び機器メーカー各社を通じて回収された「使用済電池」は、電池の種類・用途ごとに分別・計量し、後の処理工程へ投入します。



●真空加熱炉 (佃事業場) ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池に対応



●ベル型真空加熱炉 (中島事業場) ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池に対応



●ポット型真空加熱炉 (中島事業場) ニッケル水素電池・リチウムイオン電池に対応

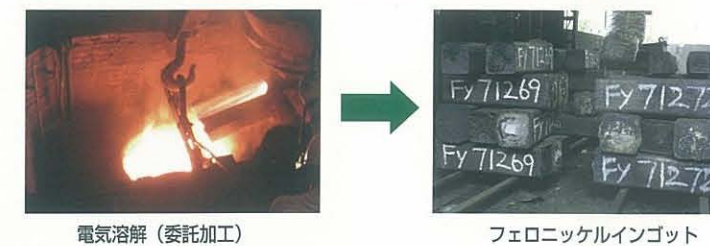


●連続式乾燥炉 (中島事業場) ニッケル水素電池・リチウムイオン電池に対応



インゴットへの加工

各種処理済電池は、委託処理にてインゴットに加工する場合があります。



電気溶解 (委託加工)

フェロニッケルインゴット



環境保全設備 (各フロー共通)

全ての設備には環境保全設備 (脱臭装置、ガス冷却塔、バグフィルター) が備っており、排出されるガスは完全に無害化されています。環境型社会を目指す企業だからこそ、環境保全への思い入れは強く、その対策も徹底していなければならないと私たちは考えています。



主要取引先



- JFEスチール株式会社
- 株式会社NEOMAXマテリアル
- TMC株式会社
- アイチセラテック株式会社
- アサヒプリテック株式会社
- アドバンストマテリアルジャパン株式会社
- 岩谷産業株式会社
- 岩月化鋳株式会社
- 株式会社扇谷
- 大阪耐火煉瓦株式会社
- 株式会社大阪鉛錫精錬所
- 川島グループ各社
- キンキメタル産業株式会社
- 株式会社興國鑄鋼所
- 山陽特殊製鋼株式会社
- 三和ハイドロテック株式会社
- 新日本製鐵株式会社
- 鈴木産業株式会社
- 住友金属工業株式会社
- 住友金属鋁山株式会社

- 住友重機械ハイマテックス株式会社
- 住友商事株式会社
- センバ株式会社
- 株式会社太陽特殊金属
- 大鋳産業株式会社
- 大同興業株式会社
- 大同特殊鋼株式会社
- 大特鋳業株式会社
- 中央電気工業株式会社
- 中外鋳業株式会社
- 東罐マテリアル・テクノロジー株式会社
- ナス物産株式会社
- 南海化学工業株式会社
- 西谷商事株式会社
- 西日本機器株式会社
- 日揮触媒化成株式会社
- 日伸工業株式会社
- 日新製鋼株式会社
- 日清特殊金属株式会社
- 日鐵商事株式会社

- 日鉄住金鋼板株式会社
- 日本ウェルディングロッド株式会社
- 日本金属工業株式会社
- 日本冶金工業株式会社
- 日本鑄鍛鋼株式会社
- 株式会社林商会
- 日立金属株式会社
- 菱三商事株式会社
- 富士興産株式会社
- 富士メタル株式会社
- 扶和メタル株式会社
- 三井物産株式会社
- 三菱商事ユニメタルズ株式会社
- 村瀬炉工業株式会社
- 株式会社メタルドゥ
- ヤマハ株式会社
- 陽鋼物産株式会社
- INTERNATIONAL TRADE RESOURCES, INC.

その他アジア、欧米より輸出入
50音順



- NTT各社
- 株式会社NTTドコモ各社
- FDKトワイセル株式会社
- 株式会社M&Gエコバッテリー研究所
- 関西触媒化学株式会社
- 株式会社KDDI
- 株式会社三徳
- 三洋ジーエスソフトエナジー株式会社
- 三洋能源(蘇州)有限公司
- 株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション
- 株式会社ジーエス・ユアサパワーサプライ
- JR各社
- 一般社団法人JBRC
- 株式会社シンシア
- 新神戸テクノサービス株式会社

- 新神戸電機株式会社
- 株式会社田中化学研究所
- 社団法人電池工業会
- 中央電気工業株式会社
- 東邦亜鉛株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 豊田通商株式会社
- 野村興産株式会社
- パナソニックEVエナジー株式会社
- パナソニック株式会社
- パナソニック株式会社 エナジー社
- 日立マクセル株式会社
- 古河電池株式会社
- 株式会社ホンダトレーディング
- 本田技研工業株式会社

- 本多電機株式会社
- 松下能源(無錫)有限公司
- 松田産業株式会社
- 三井金属鋁業株式会社
- 三菱重工業株式会社
- 三菱マテリアル株式会社
- HENAN HUANYU POWER SOURCE CO., LTD.
- SYLVA INDUSTRIES LTD.
- VITAL CHEMICALS CO., LTD.
- YUASA (TIANJIN) TECHNOLOGY LTD.

その他アジア、欧米より輸出入
50音順

事業場一覧



本社
〒530-0047 大阪市北区西天満6丁目3-19
TEL 06-6311-2800 FAX 06-6311-0949



佃事業場
〒555-0001 大阪市西淀川区佃6丁目10-39
TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607



中島事業場
〒555-0041 大阪市西淀川区中島2丁目9-141
TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030



原町事業場
〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山1-35
TEL 0532-41-0917 FAX 0532-41-0917



大和事業場
〒981-3621 宮城県黒川郡大和町吉岡字道下27-1
TEL 022-344-7668 FAX 022-344-7669





人が活かす稀少金属

富陽金属株式会社

本 社

〒530-0047 大阪市北区西天満 6 丁目 3-19
TEL 06-6311-2800 FAX 06-6311-0949

佃 事 業 場

〒555-0001 大阪市西淀川区佃 6 丁目 10-39
TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607

中島事業場

〒555-0041 大阪市西淀川区中島 2 丁目 9-141
TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030



資源・環境の未来のために

日本リサイクルセンター株式会社

本 社

〒530-0047 大阪市北区西天満 6 丁目 3-19
TEL 06-6311-9071 FAX 06-6311-0949

佃 事 業 場

〒555-0001 大阪市西淀川区佃 6 丁目 10-39
TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607

中島事業場

〒555-0041 大阪市西淀川区中島 2 丁目 9-141
TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030

原町事業場

〒441-3111 愛知県豊橋市原町字南山 1-35
TEL 0532-41-0917 FAX 0532-41-0917

大和事業場

〒981-3621 宮城県黒川郡大和町吉岡字道下 27-1
TEL 022-344-7668 FAX 022-344-7669

